

日立IHクッキングヒーター(ビルトインタイプ)

設置説明書

型式 HT-ZA10KTF (マットブラック)

HT-ZA10STF (シルバー)

設置をされる方へのお願い

- この設置説明書をよくお読みのうえ、適切な設置を行い、システムキッチンなどに組込んでください。
- 電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
- 「設置完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。
- この設置説明書は取扱説明書(保証書付)とともに必ずお客様にお渡しください。
- この製品は約30Aを消費するため、アンペアブレーカーの容量を60A以上にする 것을おすすめします。60A未満の場合は、アンペアブレーカーの容量を増やすか、本製品の 総消費電力を4.8kWに切り替えることをおすすめします。→(P.7)
- ガス機器から付け替える場合は、ガスの配管やガスメーター、ガス栓などのガス工作物は無断で撤去しないでください。法令により規制されていますので、事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓や不使用となったガス栓へのプラグの取り付けは、ガス事業者に依頼してください。

安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置説明書をよくお読みになり、正しく設置をしてください。

ここに示した注意事項は、

表示内容を無視して誤った使いかたや設置や工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。
--	-----------------------------------	---	--

絵表示の例



禁止

してはいけない
「禁止」の内容です。

指示

実行しなければならない
「指示」内容のものです。 **警告**

指示

- 設置は、この「設置説明書」に従って、確実にを行う(ブレーカーは「切」にして行ってください)

設置に不備があると、火災・感電・けがなどの原因になります。



指示

- 200V-30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する→(P.2)

この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあり、感電・火災の原因になります。

アース線を
接続せよ

- アースを確実に取り付ける

- アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと。
漏電時に感電のおそれがあります。

警告



●設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る
離隔距離が近いと火災の原因になります。



分解禁止

●分解・修理・改造は行わない
発火・異常動作してけがをするおそれがあります。
●トッププレートや操作部を分解しない
●電源プラグを外して直付けしない



指示

●電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。



指示

●設置は、製品の重量に十分に耐える所に確実に行う
耐重量不足や取付が不完全な場合、製品の落下や転倒によりけがをするおそれがあります。



指示

●電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因になります。



禁止

●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない
●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない(電気工事業者へご相談ください)
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない



禁止

●トッププレートに衝撃を加えない
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・火災・感電の原因になります。
トッププレートの上に乗ったり物を落としたりしない。

注意



禁止

●試運転中、試運転後しばらくは、トッププレートやグリルなどの高温部に触れない
やけどのおそれがあります。



指示

●製品近傍のシステムキッチンの材料は、95℃以上に耐えるものを使う
システムキッチンの変色・変形の原因になります。



指示

●製品は水平に設置する
製品が傾いていると、鍋が滑り落ち、やけどやけがの原因になります。



指示

●カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う
熱硬化樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の耐熱性を有する材料を使用してください。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

電気工事

●IHクッキングヒーターは、専用回路(1台のIHクッキングヒーターに1分岐回路)を設置してください。

専用回路、漏電しゃ断器の設置

●専用回路、漏電しゃ断器を設置してください。

専用回路	漏電しゃ断器
ブレーカー付き 単相200V・30A	定格電流:30A 感度電流:15mA

※電源は単相3線式 200Vを使用する。

※三相200V(動力電源)には接続しないでください。

屋内配線用電線、コンセントの形状

●IHクッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	 単相200V用(接地極付) 250V-30A

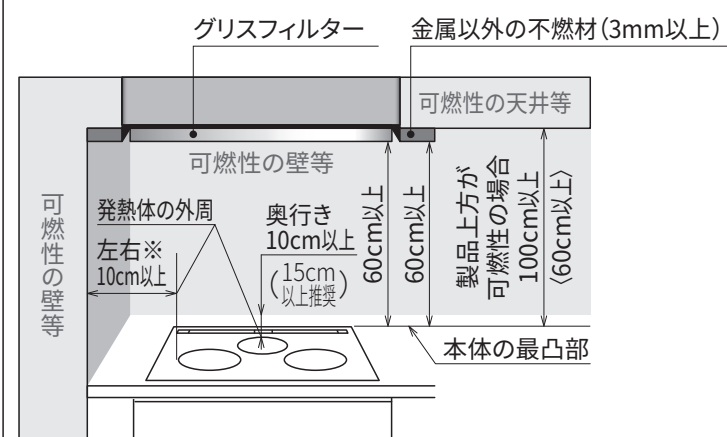
※D種接地工事(100Ω以下)を必ず行ってください。

設置場所の確認

■このIHクッキングヒーターは「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。

〈〉内は不燃材または防熱板を取り付けた場合

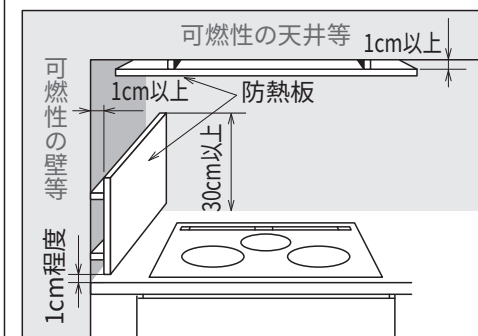
周囲の壁が不燃材の場合：本体外周から0cm以上



【特定安全IH調理器適合品】

【消防法 基準適合 組込形】

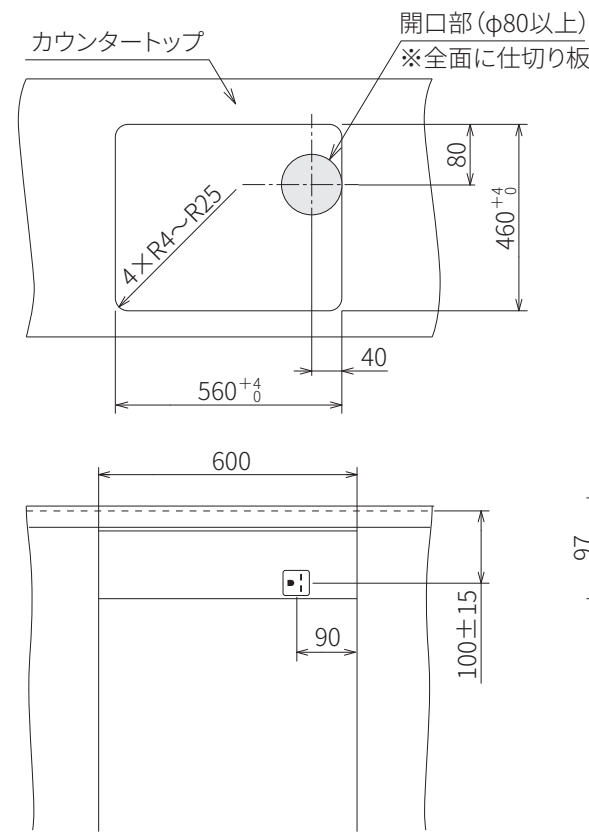
■左記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



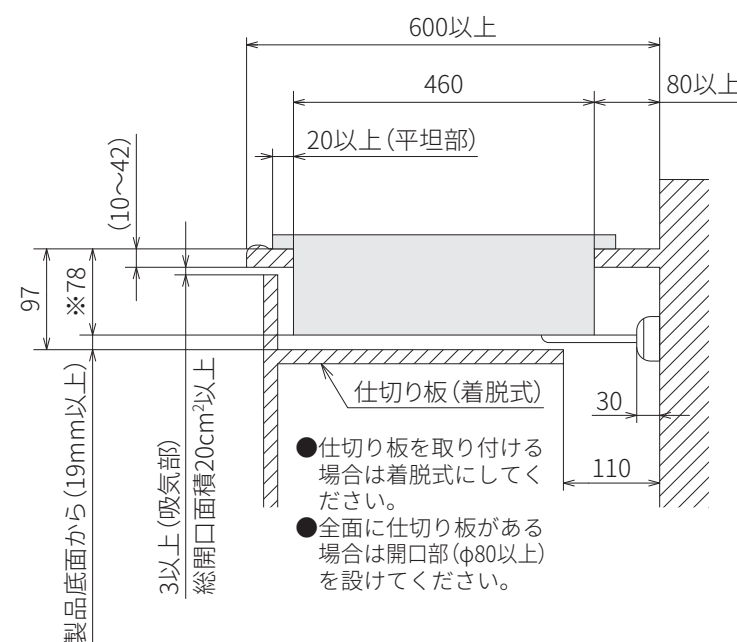
防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の可燃物の温度が室温35℃の時100℃を越えない断熱性を有すること。
本体の後面に取り付ける場合も、側面と同じ距離を設けてください。

システムキッチンとの関係寸法 (単位:mm)

●キッチンに組込む場合は、製品吸気口に外気を取り入れるための開口(吸気部)が必要です。



☆カウンタートップの取付け穴(開口寸法はJISで定められています)
※部分への突起は不可。

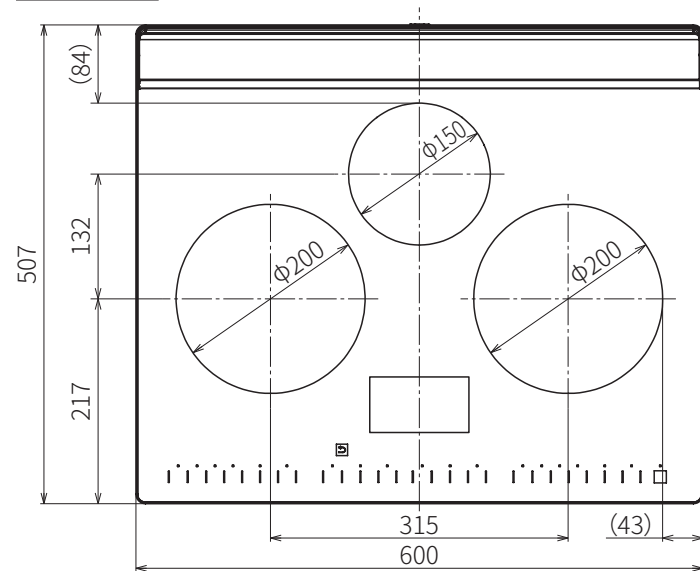


●仕切り板を取り付ける場合は着脱式にしてください。
●全面に仕切り板がある場合は開口部(φ80以上)を設けてください。

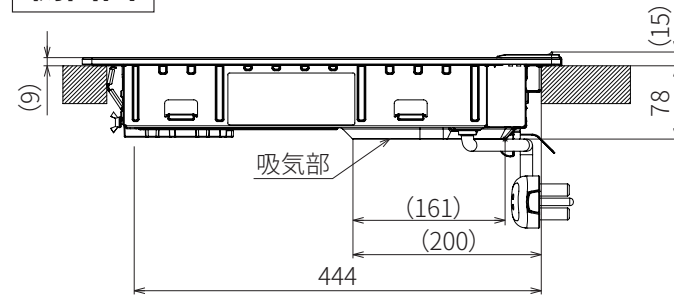
製品寸法図

(単位:mm)

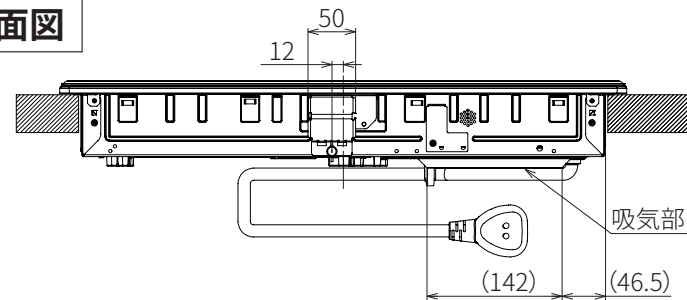
上面図



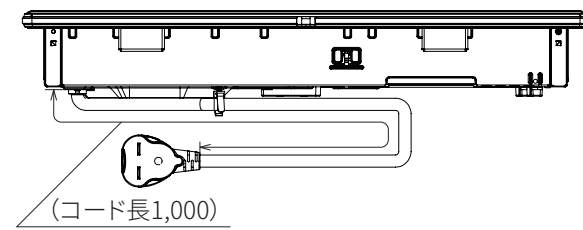
側面図



前面図



後面図



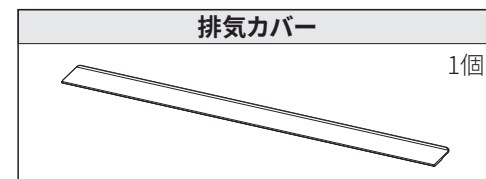
設置前の準備

※金属端面が多いため、けがをしないように注意してください。

※本体の設置や取り外しの際は、排気口に指を掛けしないでください。(排気口の破損やけがのおそれがあります)

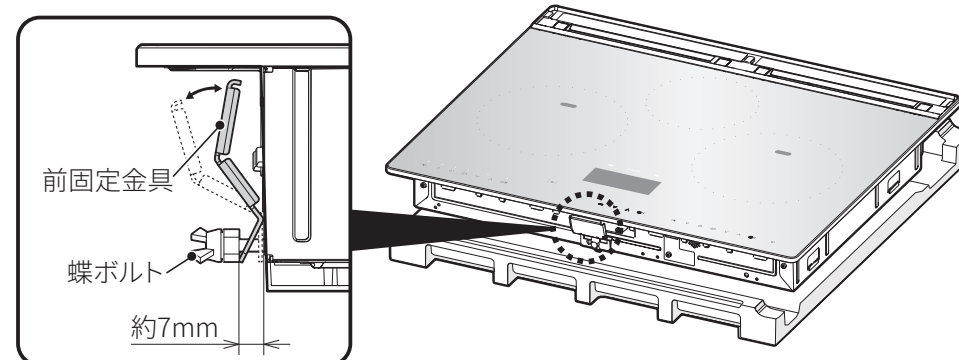
1 製品を上パッキンの上に取り出し、付属品を確認をする

- 上パッキンを裏返しにして、その上に製品を置いてください。
- 取扱説明書(保証書付)があることを確認してください。



2 前固定金具(本体取付済み)の蝶ボルトを約7mm程ゆるめる

- 蝶ボルトをゆるめ、前固定金具が可動することを確認してください。



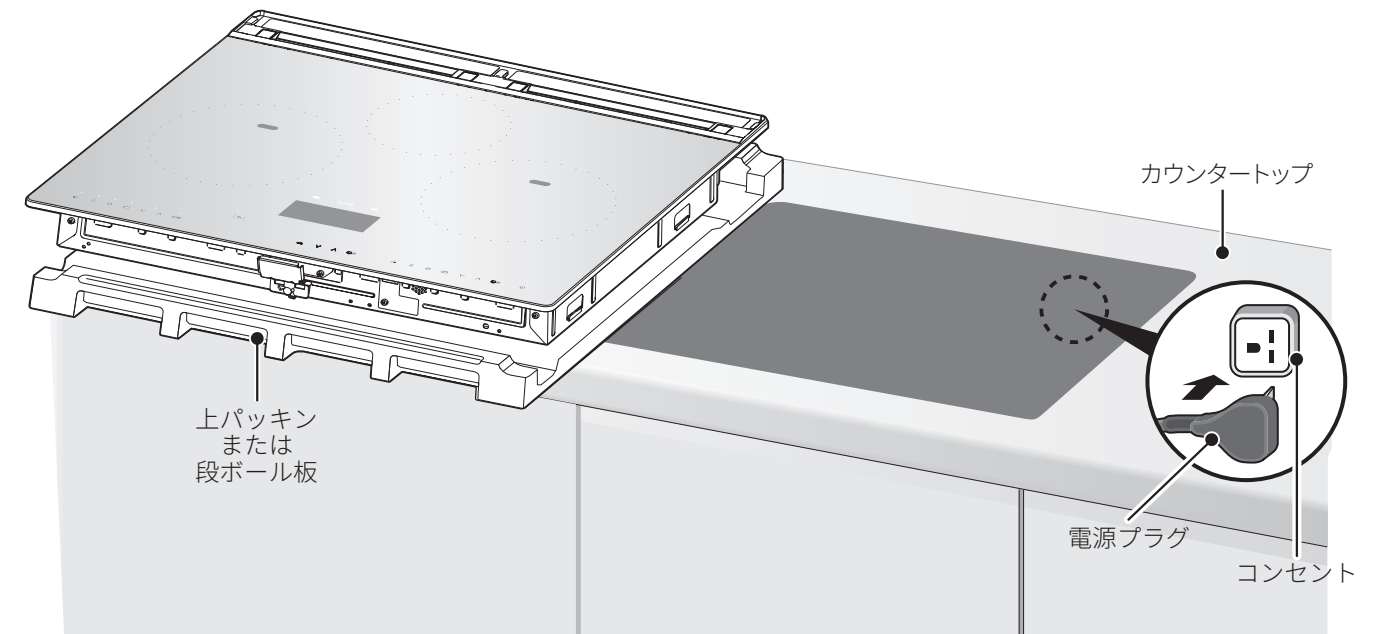
設置方法

必ずブレーカーをしゃ断して設置を行ってください。

※トッププレートは、外さないでください。

1 ブレーカーを「切」にしてから電源プラグを差し込む

- カウンタートップに傷をつけないよう、上パッキンや段ボール板を敷いてください。
- 前固定金具の蝶ボルトをゆるめたことを確認してください。(カウンタートップに傷がつく原因になります)

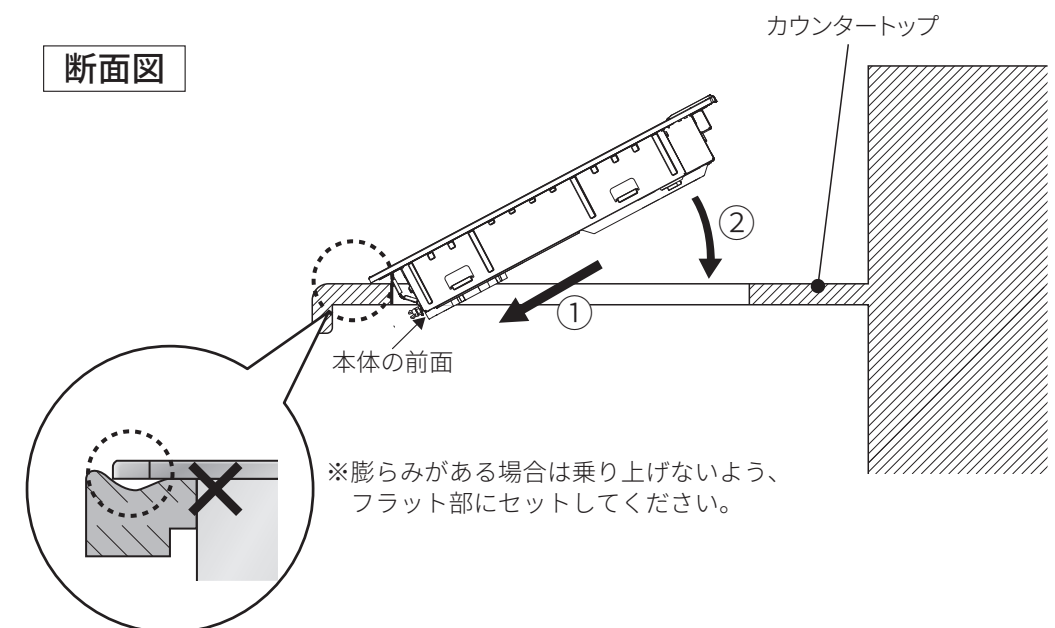


2 カウンタートップに本体の前面を挿入してから全体を後側に寄せてはめ込む

- はめ込む時は、本体の前面をカウンタートップに当てないように注意してください。(傷がつく原因になります)
- 電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないように注意してください。(本体が浮き、すき間が生じます)
- プレートワック裏側のパッキンがめくれたり、はみ出したりしないように注意してください。
- カウンタートップとトッププレートのすき間が全周にないことを確認してください。

カウンタートップが反っているなどですき間がある場合は別売品のボウスイテープ(部品番号:HTC-4CB-031)を用い、すき間を塞いでください。(水浸入防止のため)

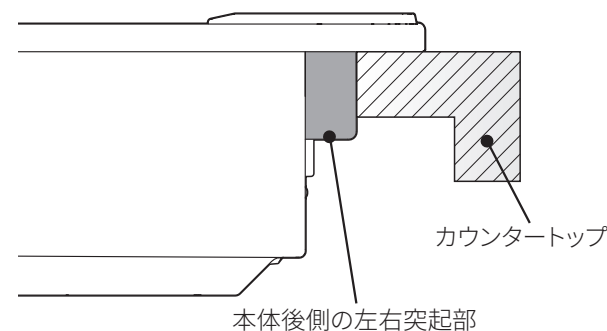
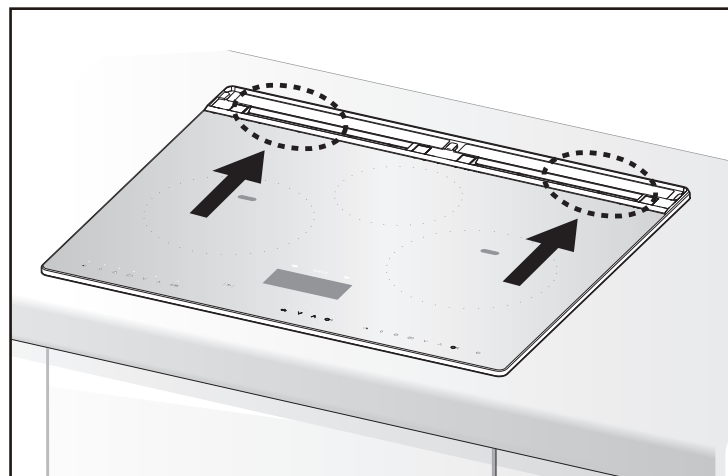
断面図



設置方法 (つづき)

3 本体の位置を調整する

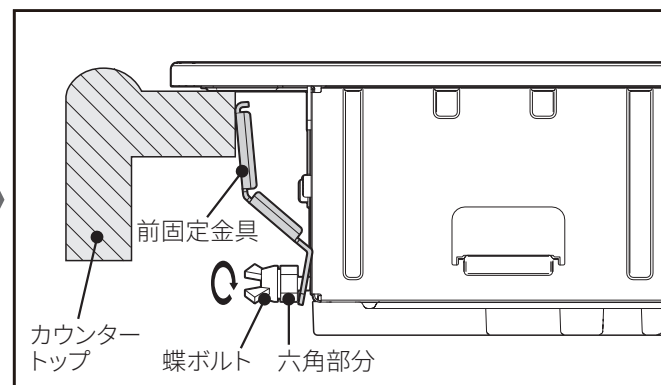
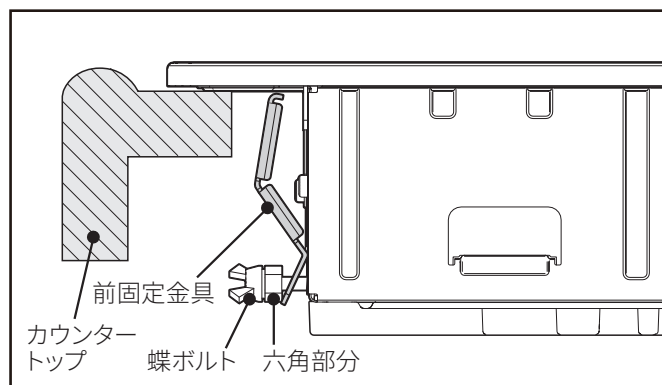
- 本体を後側に寄せ、動かない位置で左右の傾きを調節してください。
- 本体の位置を調節する場合は、本体を持ち上げて調節してください。
本体を持ち上げないで位置を調節すると、プレートワクの裏側のパッキンがはみ出る場合があります。



4 本体を固定する

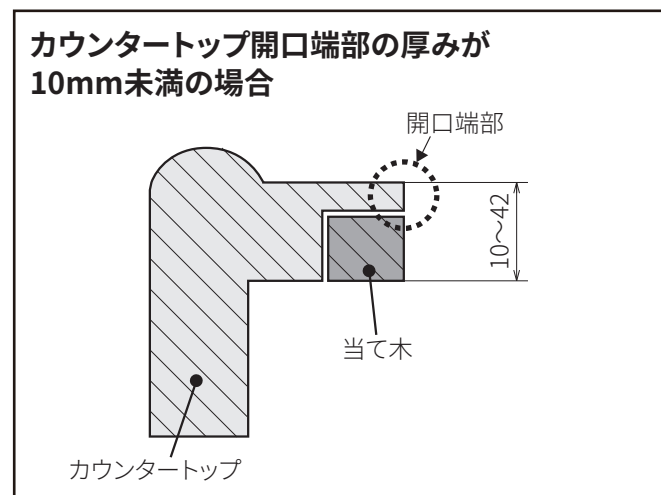
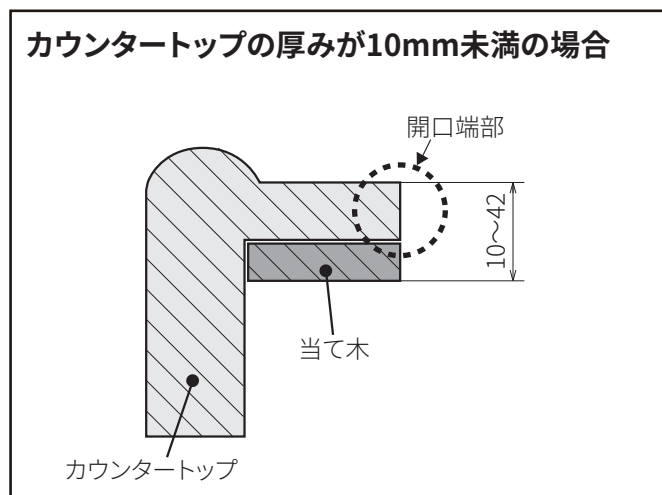
前固定金具 (本体に取り付け済み) の固定

- 蝶ボルトを締め付け、前固定金具をカウンタートップに突き当て固定してください。
- 蝶ボルトでの締め付けが難しい場合は、六角部分をM4用薄型スパナなどの工具を使い、締め付けてください。



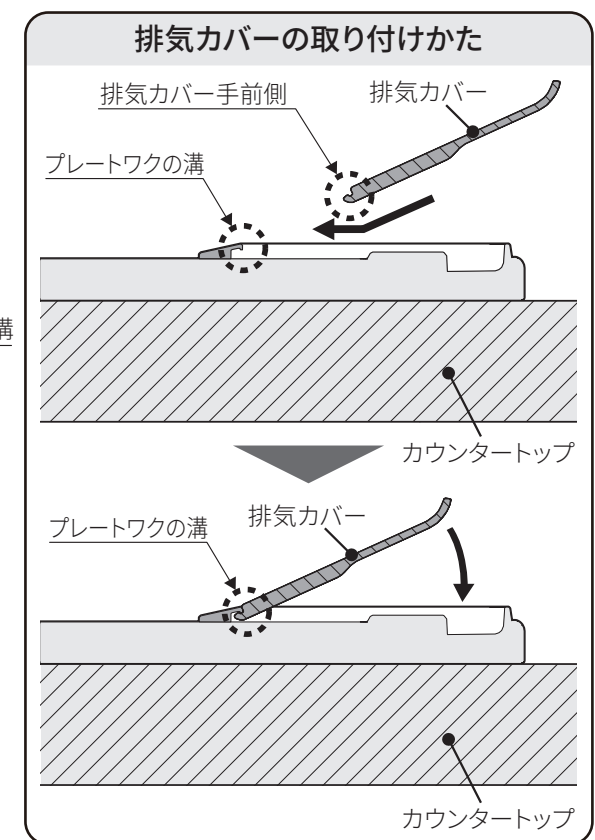
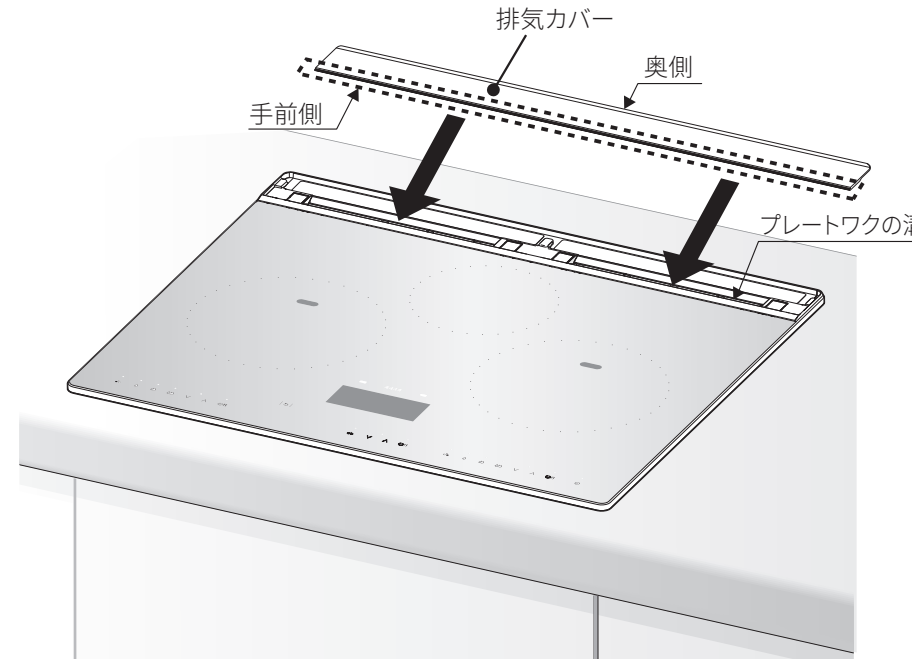
カウンタートップの厚みと形状によっては当て木が必要になります

- カウンタートップの開口端部に合わせ当て木を添えて固定してください。



5 排気カバーを取り付ける

- 排気カバーの手前側を斜め下に傾け、全体をプレートワクの溝に突き当て取り付けてください。
軽く指を添えて前後にガタツキがないことを確認してください。
- 排気カバーの裏側には、「ウラ側」の表示があります。
「ウラ側」の表示が見えないように取り付けてください。



【総消費電力の切り替えについて】

本製品は、工場出荷時総消費電力が5.7kWにされておりますが、アンペアブレーカーの容量不足(60A未満)の場合など、ご使用環境に合わせて4.8kWに切り替えることもできます。詳細は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

切り替え方法

- ①左IHヒーター操作部 の「設定」ボタン と右IHヒーター操作部 の「設定」ボタン 、2つのボタンを同時に押しながらか「ピッ」と鳴るまで少し長めに押し電源を入れる。表示部に **5.7kW** が表示されます。
- ②中央IHヒーター操作部 の「設定」ボタン を押す。 **4.8kW** が表示され4.8kWに設定される。
- ③中央IHヒーター操作部 の「設定」ボタン を押す。 **5.7kW** が表示され5.7kWに設定される。
※ボタンを押さない状態で5秒経過すると、切り替えられなくなります。このときは、再度①②③の操作を行ってください。
- ④ を押して電源を切る。
※設定の確認は①の操作を行ってください。設定の確認後は を押して電源を切ってください。

【レンジフードファン連動の切り替えについて】

本製品は、工場出荷時レンジフードファンが連動するように設定されておりますが、連動を停止することができます。詳細は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

切り替え方法

- ① を「ピッ」と鳴るまで少し長めに押し電源を入れ、 を3秒以上押す。
- ②中央IHヒーター操作部 の「設定」ボタン を押し、 **レンジフードファン** を選ぶ。
- ③右IHヒーター操作部 の「設定」ボタン を押し、 **連動 切** を選び、 を押し決定してレンジフードファン連動の設定を解除する。
- ④ を押して電源を切る。

設置完了後の確認

- 設置中、設置終了後、次の項目を確認してください。
- 試運転はIHで使える鍋を使用してください。
(鍋底に磁石がつくもので、底の平らな部分が直径12～26cmのもの。底の反りが3mm未満のもの)
- 試運転中、試運転後しばらくは、本体が熱くなりますのでやけどに注意してください。

確 認 項 目		確認欄
取り外し 梱包材の	トッププレート上やキッチン内に梱包材や可燃物がないこと。	
取な付 りど属 けの品	排気カバーを取り付けたこと。	
電気 工 事	アースが接続されていること。	
	漏電しゃ断器が設置されていること。	
	電源プラグが接続されていること。(電源プラグを接続してから、ブレーカーを「入」にする)	
	電源電圧が「単相200V」であること。(電圧異常の場合は C61 を表示します)	
試 運 転	①電源スイッチを「ピッ」と鳴るまで少し長めに押す。 ▶ ●電源ランプが点灯。	
	②各IHヒーターを「入」にして、運転を確認する。 (1)左・右・中央IHヒーター 鍋にコップ1杯程度(約200mL)の水を入れ、IHヒーターの中央に置き、左・右・中央IHヒーターの各「切/スタート」ボタン    を押した後に、左・右IHヒーターは  ボタン、中央IHヒーターは  ボタンを押す。 ※鍋は空だきしない。	●上面操作パネルの表示部に、各IHヒーターの火力とランプが表示される。 しばらくすると、お湯が沸とうする。 [レンジフードファンが自動的に運転する。※1]
	(2)すべてのIHヒーターを停止する。 通電中の各IHヒーターの「切/スタート」ボタンを押して停止する。 ▶ ●火力表示・通電ランプが消灯する。 (加熱時間によっては高温注意表示する) [レンジフードファンが約3分後自動停止する。]	

[]内は、レンジフードファンとレンジフードファン連動  クッキングヒーターを組み合わせた場合です。

※1 レンジフードファンが停止中に、各ヒーターを加熱開始した場合です。レンジフードファンが自動的に運転しない場合は、レンジフードファンの初期設定が必要な場合があります。(赤外線信号出力仕様：NECフォーマット、周波数38kHz)

- 確認終了後は必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。
電源を「切」にした場合でも継続して冷却ファンが回ることがありますが、異常ではありません。本体内部を冷ますために、ボタン操作後冷却ファンが最大約55分間作動します。(自動的に冷却ファンは止まります)
- 各ヒーターを停止後、約10分経過するとオートパワーオフが働き、自動的に電源ランプが消灯し、電源が切れます。

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12